

DEPARTMENT OF PRIME MOVER ENGINEERING AND MECHANICAL ENGINEERING

東海大学機友会々報

25

萩 三二先生筆



東海大学機友会事務局：湘南校舎 動力機械工学科事務室

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117 TEL:0463-58-1211内4321 FAX:0463-59-8293

発行人：伊藤和義／編集：山口則雄／印刷：(株)山九 TEL:03-3405-7283 FAX:03-5414-5404

2000.3

伊藤会長よりあいさつ

機友会の課題に対する対応と活動の報告



私は第六回機友会総会で会長に就任して以来三年が経過しましたが、この間、学科を始めとして、関係各位の皆様にご指導ご鞭撻を頂き、深く感謝致しております。

さて、学科同窓会である機友会は発足以来十九年となり、会員数も約九千人を突破するに至りました。機友会活動の目的は会員相互の親睦と学科発展に貢献することですが、現在の厳しい経済環境、今後更に増加する会員数を考慮すると、機友会活動は、会報の発行・配送の一つをとっても大変なエネルギーと資金が増大することとなります。これ等を踏まえながら、我々は各理事と共に諸々の課

題に対し懸命に取り組む所存ではありますが、未だ未熟な機友会ですので、会員の皆様、今後共宜しくご支援の程、お願い申し上げます。

① 地方支部の設立

会員は様々な地域に分散しており、情報の伝達等、行き渡らない点の解消として、地方支部の設立は必然であり、一昨年、台湾に支部を設立致しました。さらに今後とも、支部制度の確立と候補地の選定を行いながら広げて行くつもりです。

② 賛助会員の拡大と特典

一般会員の会費に次ぐ大きな財源の一つであり、この賛助会費は執行部としても大変感謝しております。会員への特典の一環として、昨年、機友会理事でもあり弁理士でもある岩堀氏に「使える知的所有権」の講義をお願いし、実行致しましたが、我々の情宣活動の甘さもあり、今一つ盛り上に欠けた点は

今後の反省材料として積極的に情宣活動をしていきたいと考えております。

③ 機友会ホームページの開設

グローバルな情報の合理化とスピード化に対応するため、ホームページの開設は我々の念願でもあり、時代のニーズに即応出来るものと確信しております。現在、ソフトは河合理事の手がけた物が完成しており、動力機械学科のホームページ開設を待っている状況にあります。

④ その他 卒業生対策等

以上、理事一丸となつて今後とも頑張りますので宜しくご支援の程お願い致します。



松前 前総長銅像



水と空気と環境の明日を考える...

荏原グループ

荏原製作所・荏原サービス・荏原プラント建設・マツボー
荏原環境エンジニアリング・荏原エンジニアリングサービス
荏原電産・荏原シンワ/大岩機器工業所・荏原商事 他

●第七回機友会総会

松前総長は、挨拶の中で必ず「大学の評価は、卒業生の活躍で決まる」と解かれます。十一月三日の東海大学同窓会総会においても松前総長は、卒業生の活動内容に大きな関心を示され、同じ様に私達に指導的教えを述べられました。卒業生の一人として何かを求められている気持ちになつていきます。

今年(三年ごと)の東海大学機友会総会開催年にあたり、機友会総会に出席すべく東海大学同窓会総会の途中で会場の松前記念館へ移動しました。

この総会の開催準備は、昨年六月の役割分担から始まりました。その後、四回の定例理事会で準備の進捗確認を重ねてこの日を迎えています。総会直前の第一四九回定例理事会では、遠路名古屋から駆けつけた方々を含む多数の理事が出席され、更に総会への関心の高さが伺えました。

総会での協議内容は、割愛させて頂きますが、各理事が期待通りの役割を果たし、その努力が多少の不一致まで克服できた点が大きな成果と言えると思います。

進行面では、企業の株主総会や東海大学同窓会の総会と同様の企画をするのはボランティア活動に相当する機友会として困難な課題であることが理解され、出席者から不備の指摘はありませんでした。

定例理事会で検討された総会議案は、すべてが承認され、次の総会までの活動方針が策定し、無事に終わりました。

機友会は、総会直後から会報二十

五号発行と三月の卒業式および五月の新生オリエンテーションへの準備にシフトされました。更に議決された会則改定に基づく体制見直しを急がなくてはなりません。

発足時と異なり、卒業生が活動の中心となった機友会ですが、学科からの理解と支援が不可欠であることは今も変わりません。今後も学科からの理解と支援に支えられながら松前総長の「大学の評価は、卒業生の活躍で決まる」に貢献できる東海大学機友会を目指したいと考えております。

〈お願い〉

卒業生各位の力を結集させたく、第三土曜日の一五時から代々木校舎で開催する定例会にご参加願います。議事録の送付を希望される方もお申し出願います。

(記 小杉副会長)



第7回機友会総会

●機友会懇親会報告

秋の気配も一段と深まった十一月三日、建学祭開催中の湘南キャンパス松前会館に於いて第十三回機友会懇親会が開催されました。

当日は、機友会名誉会長で学科創設以来ご尽力された秋三三先生と懇親会のために三年ぶりに来日された陳敦化さんが参加されました。

開会にあたり伊藤会長が挨拶され、懇親会に先立って開かれた第七回総会の報告と共に地方支部の設立、賛助会員の拡大、ホームページの開設等の新しい活動方針を述べられました。又、台湾地震の義援金募金を行うため懇親会の場をお借りして皆様のご協力をお願いしたいとのことでした。

次に本部同窓会、萩先生とご来賓の挨拶があったあと、学科への研究助成金が伊藤会長より康井教授へ贈られました。康井教授からは、機友会からの助成金は学科の研究活動に大いに役立っており、非常に力強い支援であるとお礼の言葉がありました。

続いて台湾支部長の陳さんの音頭で乾杯のあと立食パーティーとなり、美味しい食事を頂きながら歓談しました。途中、伊藤会長を先頭に理事数名が募金箱を持って会場を回り、参加者に募金して頂きました。

会も盛り上がったところで恒例のゲームとなりましたが、今回は「恐怖のビンゴゲーム」と銘打って、参加者自ら書いたビンゴ用紙を回して手元に来た用紙によってゲームを進めるというスリルのあるビンゴでした。



機友会懇親会の様子

次に康井教授による教職員紹介と、伊藤会長による機友会理事の紹介、そして今回は機友会への支援をして下さっている法人の代表の方々の紹介もあり更なるご協力をお願いしました。

最後に、会場で募金された義援金が伊藤会長から陳さんに託され、陳さんからは

「皆様の暖かい心に感謝します。台湾ではこのような時、雪山で薪を頂くといい、それほど有り難いことなのです。」

というお礼の言葉がありました。

台湾の一日も早い復興を願ってやみません。

名残惜しい中、望月副会長の閉会の辞に続いて一同で二本締めを行い、来年の再会を誓い合いながら散会となりました。

(記 佐藤理事)

内外国の特許・実用新案・意匠・商標・サービスマーク・鑑定 等

発明・ノウハウの相談受付

特許権も担保として融資実施化

岩堀特許事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂4-3-1 共同ビル赤坂613号
地下鉄赤坂見附駅・赤坂駅下車 3分
電話東京03-3587-1625

弁理士 岩堀邦男(66年機械卒,91年通信卒)



教育用・病院用機材の
コンサルタント

東海教育産業株式会社

代表取締役 谷 越 安 男

本社 神奈川県伊勢原市下粕屋164番地 ☎0463-92-1881(代)
湘南営業所 神奈川県秦野市南矢名1丁目5番13号 ☎0463-78-5671(代)

大学同窓会 東海大学 学園だより

選抜高校野球大会に
東海大相模と東海大
仰星の2校が出場



第七十二回選抜高校野球大会
(毎日新聞社、日本高校野球連盟主
催)に東海大学付属相模高等学校
(神奈川県)と、東海大学仰星高等
学校(大阪府)の二校の出場が決
定しました。相模高校は五年ぶり
五回目の出場、仰星高校は四年ぶ
り二回目の出場です。組み合わせ
抽選会は三月十六日に行われ、三
月二十五日から十一日間にわたっ
て甲子園球場で熱戦が繰り広げら
れます。皆様の暖かいご声援、よ
ろしく願います。

学同窓会定期総会



同窓会総会を開催
(平成十一年十一月三日)

建学祭期間中の湘南校舎で恒例
の同窓会総会が行われ、数多くの
会員で賑わいました。桜井会長な
らびに松前総長からそれぞれ、

二〇〇一年が創立者である松前
重義博士の生誕百年であることか
ら、学園でさまざまな行事が計画
されていることが報告され、同窓
会としてもホームカミングデー等
の企画を立案中であること、また
会員数が二十万人に達したことが
報告されました。



内中望原古柴田梅清大長柴小河井山高安曾平須東高鈴西小竹香高城井平入鈴武菅伊西長関渡東安島飯会岸祐高小小佐安下矢小宮酒
田沢月口川代田田森谷田清西上名橋齊根井田橋木村澤山取橋石上原山木井谷藤野崎根辺樹西森島沢川野山泉々保野野崎井
英川水知正進昭本典幸繁英太哲宏清正隆敬泰照好勝藏誠勇健雄一誠昭博謙嘉一寛和修和浩利忠康尚祐敏重達
力文健兆英徳雅宣純昌知正進昭本典幸繁英太哲宏清正隆敬泰照好勝藏誠勇健雄一誠昭博謙嘉一寛和修和浩利忠康尚祐敏重達
秀次弘男彦英一一猛紀隆彦次義泰一郎博郎夫祐彦康彦三市史己佐造広之二行明朗人一明彰之司資弘行也

福石神原野臼山金愛増直斎海田鶴阿鈴大河石山鈴濱金奈三増野斎小斎落樋平志篠藤西佐森庄武山安本木仲鈴岩穂中深大松朝宮仲松
島川武澤井本字甲田井藤老中田部木塚合山口木山子尾須崎藤合口野村田川々恵木心司田岸藤多村宗木堀山田沢石林木下尾本
伸智孝志康志淳智勝陽真一啓涉信信透康佳博昌望大聡清賢和真聡裕辰智雅弘寿秀太隆啓伸達淳亮照邦幸和孝修孝貴博益金
浩宏修太文史和己輔吾之崇之司史一文範三一貴治孝也茂志隆雄之紀彦康郎一晃也次平剛仁男一義義人明幸治郎

丸小檀川矢矢金林小直島杉後中三小森清清河齊金奈大田是河神岩若
山林本島畑口子倉原口村崎泉田原水西藤田尾川中石合林谷崎泉
源森元
雄寛重雅誠悟明豊由一博能晃純利秀直正良伸一智有朋康康浩了
二和雄行之弘弘郎明成市一明之彦信一郎久喜紀史広一男正

曾早田杉柴糸山篠南皆長山三土士吉能渡伊小大大中鈴
根川嶋山山澤家崎部川沢下留屋屋田津辺草池淵塚村木
清泰祐理考市教啓輝貴裕淳和春利直邦剛篤正幸泰達功
徳央一司朗明介夫聡介二宏樹幸樹洋史史浩治弘彦

以上会員二二六名敬称略
(寄付金カバも含まれます)
小山日佐田増安後鈴原森小佐鈴二岸寺田日大佐中近池藤三井中中松工
島本野藤口沢部藤木口常木瀬修谷中野岡藤村藤田井留上園村下藤
利博浦良佑康誠大誠兆信雅祐克直馨悟康方清英秀靖和剛与直保齊
哉英勉晴三雄次祐弘裕秀二規也人伸哉人夫也久宏一司廣

松河和飯工中東加若中藤磯吉大忍細立橋齊山嶋藤入岩
波西田島藤尾藤淵村原部田貝足江見本藤本野原江堀
達
昇正英敏英正夫祐功雄雅友知俊鑑建昌貴敦勝明輝輝邦
彦孝雄哲也司尚介樹春広介司一信之也男

機友会会費納入者

東芝特約店(金属・新素材) 金属材料・新素材・金属CVD装置・半導体用ガス・各種設備(設計・施工)の専門商社



ウエキコーポレーション

本社 〒146-0085 東京都大田区久が原5丁目33番10号
TEL (03) 3753-2211 FAX (03) 3753-7117

支店: 東北・関東・関西中部・九州 営業所: 仙台・埼玉・名古屋・大阪・北九州・大分
出張所: 北上・新潟・四日市 事業所: 泉・姫路・北九州・大分・小向・堀川町・横浜

本社勤務 水口 直(S47年修士卒)
本社勤務 日向野保雄(S52年卒)
本社勤務 七澤浩史(H6年卒)
本社勤務 外谷浩一(H8年卒)
本社勤務 中台武志(H9年卒)

社
問
会
訪

大成ラミツク株式会社

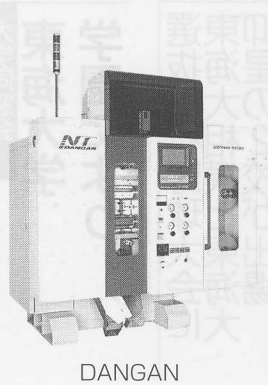
竹の子が商標

今回の訪問企業は「充填フィルムの製造販売及び充填機の販売とアプリケーションサービス」の大成ラミツク株式会社です。同社は埼玉県白岡町にあり、田能寺教授、伊藤会長、私(山口)の三名で伺いましたので報告させていただきます。

まず同社の常務取締役であり、工学博士でもある二瀬克規さんより会社概要の説明を戴きました。同氏は動力機械工学科四十七年度卒業生です。

「そもそも東海大学とは北海道の東海大学第四高校からの縁にはじまります。

先輩のいない高校という理由で新生高校の一期生として入学した訳です。ここで数学を情熱をもって、懇切丁寧にご指導を戴いたのが石田先生(現東海大学付属相模高校校長)です。同じ理由で大学も札幌校舎の設立と同時に一期生入学しました。ここでは北海道大学の宮原庄平先生から物理学を分かり易く講義してもらいました。これが今、仕事の上で



DANGAN

血となり肉となつていいると思います。湘南校舎での卒業研究は何か変わった事をと考え自主卒研として「サンドバギー」が出来ないか萩先生に頼み込んだのです。幸い先生には快く了解して戴き、さらに就職までもお世話戴き、大成ラミツク(株)に就職しました。

現在、二百名余りの従業員数ですが、当時三十名足らずの町工場だったためか、入社二年目にして新工場設立を設計から始まり発注、工事監督、立上げ運転と全て任されたのは驚いたものでした。工場完成後も品質管理のデータ採り、増設、コンピュータ制御プログラム作成と無我夢中で取り組み、どこの会社にも負けない少量多品種の生産システムを構築したと自負しております。

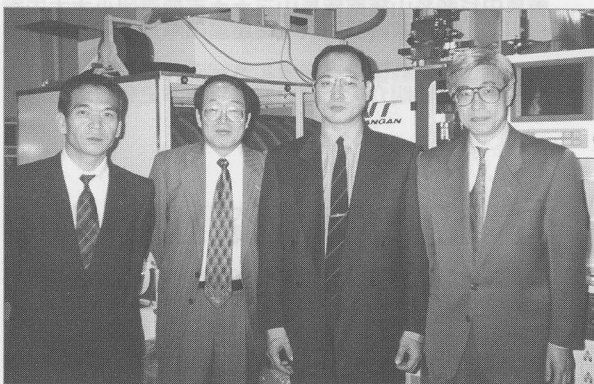
その後、フィルム素材分野だけでは会社の成長が難しいと思い充填機の開発を考えていたところ日本精機株式会社(本社新潟県長岡)の永井淳夫社長のご厚意で当社との充填機開発プロジェクトを作ることが出来ました。当時、基礎研究から開発をスタートすることは業界でも異例の事であったと思います。これを認めていただいた当社社長と永井社長は今も深く感謝しております。

共同開発された充填機は開発から十年を迎え順調な歩みを遂げています。優れた商品は必ず評価されるものと信念を持ち、お客先を納得させる基礎データを積み重ねて来ました。現在、日本一の最高速度を有する充填機として、従来の機種に比較して約四倍の生産速度(30m/分)を持つまでに進化しました。

また、フィルムの開発に関する技術を定性定量的に理論化を進めている内に、東海大学大学院卒で埼玉工業大学工学部島本教授の薦めで、研究の成果を論文発表することになり、その結果、平成十年三月に工学博士の学位を戴きました。現在も関東学院大学の名誉教授高橋先生、慶応義塾大学名誉教授国尾先生など様々な先生との交流をもち指導をいただいております。最近の開発テーマとして微生物分野の研究も進めております。私は基礎研究を充実させることで新展開が可能と考えています。なぜなら応用研究では物の価値を二、三割アップは出来ても二、三倍には出来ないからです。

話が一段落した後、工場内を案内していただきました。まず驚いたのは訪問者に対し社員全員が大きな声で挨拶される事です。営業部門はもちろん事務部門も生産部門も関係なくその作業の手を止めて声を合わせ挨拶されるので面喰らいました。

社長の礼節を重んじる考え方がここまで浸透しているのは羨ましい限りです。次に商品の品質と付加価値を支えるフィルム押出機と標準機の二倍以上のコストを要したというコンピュータ制御システムを見学しました。また、均一乾燥を考慮したロールフィルムのエージング倉庫と印刷工程を見せてもらい、R&Dセンタ―では最新技術について説明を戴



右から二人目が二瀬常務取締役

き、その実験装置が工夫された構造で、自作品であることに再度驚かされました。最後に、二瀬常務取締役より「小さな会社が 대기업に勝つには発想の違いで優位を保つ、過去の経験のみに偏ることなく自然科学に基づき創造的な思考力を大事にするべきであり、大学もこの点で教育をもっと変えるべきである。故松前総長の現代文明論を聴講した最後の学生であり、直接に影響を受けた私としては現在の東海大学はこの「志と想い」が薄くなったように思う。研究者は市場の声を聞くべきであり、その行為により大いに刺激を受け、新たな発想が生まれ、創造的な商品が開発できる。時には大学内の敷地と部屋を提供し、学生にベンチャー企業を立ち上げるチャンスを与えてはどうか」とのご提言を戴き大学関係者も企業関係者も大いに啓発させられた企業訪問となりました。

(記 山口理事)



大成ラミツク株式会社

常務取締役 二瀬 克規 (1972年卒)

- 液体、粘体、充填フィルム、レトルトパウチ、ハイテク関連フィルム及びチャック袋等の専門メーカー
- 高速自動充填機NT-ダンガン及びリレーショナルマシンの販売

本 社	〒349-0203	埼玉県南埼玉郡白岡町下大崎873-1	TEL0480-97-0221代	FAX0480-97-0630
白 岡 工 場	〒349-0204	埼玉県南埼玉郡白岡町篠津778-2	TEL0480-92-3773	FAX0480-93-3361
下大崎工場	〒349-0203	埼玉県南埼玉郡白岡町下大崎12	TEL0480-93-1226	FAX0480-93-1005
東北営業所	〒020-0122	岩手県盛岡市みたけ3-2-31	TEL019-641-1141	FAX019-641-1168
名古屋営業所	〒453-0014	愛知県名古屋市中村区則武1-10-6	TEL052-452-4811	FAX052-452-4821
福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南3-2-3-802	TEL092-411-5481	FAX092-411-5470

助員
賛会

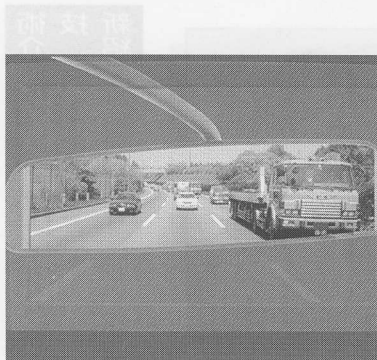
株式会社 東科精機

安心を託す確かな備え

明日の環境を考え、安全を託す確かな備えがモトの株式会社東科精機は、汎用ガス警報器を始め営業品目二十数種におよび、又公的機関による検定・認証の取得は、ガス警報器等数十種目にわたり船舶にも応用されております。

現在は、韓国・台湾・タイ等海外のガス関連会社と代理店契約を結び、家庭用ガス警報機は、神奈川県発明考案展で川崎市長賞を受賞、その他全日本中小企業輸出振興協議会優秀賞を度々受賞されております。

本業以外にも未来を目指していくつかの開発を進めています。特徴的な例として、リアビューモニターがあります。従来の車両後方確認モニターは、トレーラー、連節バスなど連結車両の屈折時の安全確認などに用いられてきてはいたものの、一般的にはバックの使用が中心だった。ド



後方の視界を確保する



リアビューモニター

ライバーが走行中にモニターでバックの時だけでなく、走行中常には後方の視界を確保することが出来る点が特徴としてあげられ、さらにカラーカメラ/カラー液晶モニターにより、夜間の確認も容易に出来る。今までの後方確認モニターの常識を覆す製品です。

この様に東科精機は、昭和四十五年度東海大学工学部機械科を卒業された松波登社長の斬新な発想のセンスと抜群のリーダーシップで大企業に伍しても決して引けを取らない製品の数々を世に出してあります。

研究開発部門も新しいテーマに取り組んでおり、製品に対しての自信と信頼に裏打ちされたベンチャー精神で、二十一世紀に向けて大いに躍進している企業です。

(記 広報部)

助員
賛会

伊藤工作所

二十一世紀の新しい空間づくり



熊野古道は熊野三山(熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社)に参るための道。伊勢

から、吉野から、高野山から、そして京都からと幾節かのルートがあつたが、代表的なものは紀伊半島を西回りする「紀伊路」と、東回りの「伊勢路(東熊野街道)」であつた。

後者の伊勢路は江戸時代以降盛んに歩かれるようになり、伊勢参宮を終えた旅人や、西国三十三カ所めぐりの巡礼たちが辿った、いわば庶民の道。起点の田丸で巡礼装束に身を改めた旅人が、いくつもの険しい峠を越えて、あこがれの地。熊野をめざしたのである。その伊勢から熊野までの中間に位置し、三方山に囲まれた東紀州尾鷲が私の現在地であります。首都圏への時間距離が最も遠いこの地で当社が誕生したのは昭和二十六年、今年で創業四十九年を迎えます。業種は製造業及び建設業、主要営業品目は橋梁・水門・圧力容器・鋼製タンク・配管・天井走行クレーン・各種プラント工事及びメンテナンス作業等々です。十数年前からCADによる設計業務に切替え、橋梁の製作に本格的に乗り出しました。鋼構造物の製作には絶対的な自信がありましたので今までの経験に基づき

何の不安も抱くことなく、図面通り造ればいいとの認識でした。しかしながら製作が進むにつれ、その難かしさが解かってきました。物造りの基本は、その品物の最終目的を満足させることです。製作者はこの部品がどこに使われ、どのような働きをするのかを理解した上で製作する必要があります。

橋梁の場合ですと単なる設計荷重に耐えればいい、そのための溶接、歪、接合、据付等を検討すれば充分と思っていました。溶接の脚長は必ずしも強度で決まらない、鉄板のXY方向の強度、Z方向(厚さ)に強い鉄板等、今まで経験したことがないファクターが出現し物造りの壁に突き当たりました。それからは橋梁というものを誰かに教わることなく設計から製作、据付まで自分達流でまず考えて見ることから挑戦していきます。まだまだ五合目程度ですが、鋼構造物製作の最高峰を目指して頂上に近づいていきたいと思ひます。

自然の美しさを見つめ、考え、活かしていくことを大切に、人や社会が心地よく生活していくための基盤づくりが当社の理念であり、世界一小さい、世界一効率の良い工場を目指し二十一世紀の新しい空間づくりに邁進します。



伊藤工作所

ルームミラーの無い車を運転出来ますか？

リアビュー モニター

トラック後方視界常時表示システム

株式会社 東科精機

国際特許出願中
中小企業の創造的事業活動として
神奈川県知事より認定される

〒211-0063
川崎市中区小杉町 3-239-2
TEL 044-722-2000 FAX 044-722-7460
代表取締役 松波 登 (1970年度機械科卒)

未来に優しさを届けたい。

ISO 9001 認証工場

橋梁・水門・プラント配管及び鋼構造物の設計・製造・据付



株式会社 伊藤工作所

代表取締役 伊藤 整 (1975年度卒業)

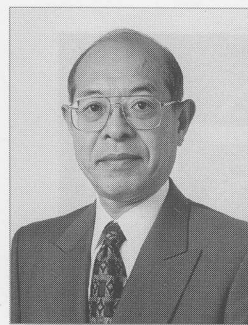
本社工場: 〒519-3639 三重県尾鷲市中川 1-17 TEL. 05972(2)1633

津工場: 〒514-0303 三重県津市雲出長常町六の割1349-72 TEL. 059(234)5639

技術
新紹

自己と研究の紹介

工学部動力機械工学科 神本 武征



疎開先の富山県で終戦を迎え、小学と中学時代を彼の地で過ごした。父の戦友だった元航空将校(陸軍百式司令部偵察機のパイロット)の話聞いてヒコキおたくになった。ゴム動力、U-コンのエンジン機を飛ばし、創刊された「航空情報」を愛読する毎日となった。中学三年の時、埼玉県川口市に引っ越した。高校時代の或る日、銀座「天賞堂」で見たソリッドモデルの美しさに魅せられ、母校浦和高校にソリッドモデルクラブを結成した。学園祭に展示するだけでなく、浦和の模型屋に腕を見込まれ、一機二千元で製作を依頼された。昭和三十三年当時のこの値段は今なら三万円に相当するから結構いいアルバイトであった。お陰で一浪の身となった。

◆大学時代の思い出

大学はYS-11の設計で有名な木村秀政教授の日大を志望した。しかし男四人兄弟の家計で私立に行くのは無理であり、東工大の応用力学コース(占領軍によって研究が禁止さ

れたため名称変更した元航空学科の残党グループ)に進路変更した。入学後は迷わず自動車部に入部して、ご多分にもれずラリーに精を出した。またホバークラフトを作ったり、ダンスパーティーを開いたり忙しい学生生活を送った。卒論ではスバル360のエンジンを回して「不整燃焼の研究」を行い、修論では「円柱後ろの伴流の研究」で風洞実験を学んだ。大学四年から修士時代は趣味はヒコキから映画鑑賞へと移り、購読紙も「航空情報」から「映画評論」と「シナリオ」変った。

◆軟式野球チーム結成

修士終了と同時に二年間の約束でエンジン実験室の助手に雇ってもらった。凝っていたフランス映画のセリフを理解したいと思い、飯田橋の日仏学院「夜間コース」に二年間通ったが、モノにならず断念。この間、子供の時から好きだった軟式野球のチームを川口市に結成し、四十五歳までプレーした。一時は東都リーグで活躍した実力派選手を集め国体の予選に出場するところまでいった。生涯ホームラン数五本と言う非力なバッターであったが、下手の横好きで毎日曜日グラウンドに通った。

◆自動車部監督と研究

学校では自動車部の監督に就任し、学生と共に北海道に計測旅行に出かけたり、熱心に部活指導。かくするうちに気がつけば三十歳を越え、妻に「いつまで遊んでいるの」と急つかれ、教授には「自動車部ばかり行っていないで」としかられる始末であった。それから本当に研究一筋の三十年、主に「エンジンの燃焼と排気」の研究に取り組んだ。映画の趣味を生かして「エンジン内の燃焼高速度写真の画像計測」にも力を入れ、ディーゼルエンジンの燃焼研究を中心に約百本の英文論文を書いた。動力機械工学科ではこれまでの経験を活かし、「熱力学」「熱機関」「伝熱工学」「計測工学」などを講義している。学外では英国機械学会出版の世界的なエンジン論文誌「International Journal of Engine Research」の編集長。

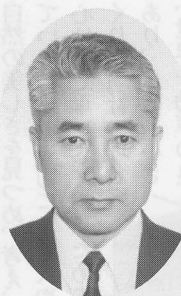


先生自筆の絵です

学科だより

自己紹介

村松 敏彦



平成十一年四月から動力機械工学科に勤務させていただくことになりました。それまでは、三菱重工業(株)およびその販売会社に勤務し、設計部門ではエンジン設計、発電セットおよびポンプセット等のアプリケーション設計を行い、営業サービス部門ではエンジンの販売およびサービスを担当しました。主な業務は、エンジン設計で非常用発電セットの計画、設計、客先との仕様打合せを行い、全国各地に100kW~20000kWクラスの発電セットを納入し、シェアは20~30%でありました。またエンジン業界の(社)日本陸用内燃機関協会、(社)日本内燃力発電設備協会の部会に参加し、エンジンの製品規格作りなどを行いました。これらの経験を生かし、より多くの学生が育つよう努力して行きたいと考えております。

村松 敏彦 先生プロフィール

略歴

一九六二年慶応義塾大学工学部機械工学科卒業、同年三菱日本重工(株)に入社、一九九三年三菱販売会社に移籍、一九九八年定年退職

企画・デザイン・制作グループ

- 総合企画・デザイン・編集・レイアウト
- 版下作成(MAC、フロッピー、入稿OK)
- 会社案内・社内報
- カタログ・パンフレット・マニュアル・ポスター
- イラストレーション



株式会社

山 九

代表取締役 長田 成信
専務取締役 佐藤 久男

〒107-0062
東京都港区南青山4-1-11 リライアンスビル303
TEL 03-3405-7283 FAX 03-5414-5414
メールアドレス syamakyu@Sepia.ocn.ne.jp



一音と振動と熱を科学するー
自動車排気系製品・機能製品の研究・開発・製造

日新工業株式会社

取締役社長 中村 俊文

本社 〒242-0029 神奈川県大和市上草柳172
TEL 0462 (64) 1221
テクニカル センター 〒329-4300 栃木県下都賀郡岩舟町1941-1
TEL 0282 (55) 6986

在学生の声

一年を過ごして

工学部動力機械工学科一年
矢羽 美由紀

先日、一般推薦入試の合格発表が行われましたが、一年という時間の短さを感じました。去年自分の合格を聞いたときのことはつい最近のことのように思っていたので本当に驚いています。

さて、まず入学して驚いたのは大学の規模です。キャンパスの広さや大学の組織としての規模にとっても驚きました。今までとは全く違う環境に、今まで慣れない部分もあります。が、私はこの広いキャンパスで学べたよかったです。また、最初この学科に女一人という事にも戸惑いはありましたが、よい友人もでき、また講義も面白く充実していたと思います。

しかし私にとって一番の経験になったのは色々なタイプの人達と出会えたことです。大学は『人種のるつぼ』と聞いたことがあります。が正にその通りです。出会った人々から様々なことを学べたことが一番良い経験になったと思います。この経験を更に飛躍させてこれから過ごしたいと思っています。

卒業生の声

十六年間の集大成

工学部動力機械工学科四年(粕谷研究室)
卒業バリエーション幹事・拇速 真

考えてみれば、私たちは、これまでの生涯で半分以上を学校生活に費やしている。私たちが学ぶべきものは、何だったのだろうか。

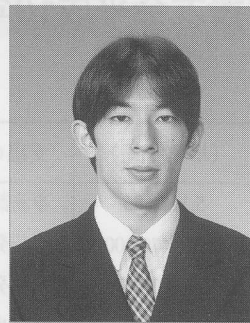
学校というものの定義は、まず、学ぶ場であり、次に、人間形成の場である。私は考えている。私は四年前、大学という場所は、どちらかというと、学ぶことよりも周囲の人間と接することにより、社会に出るための人間形成の場であると思っていた。しかし、それは間違っていた。

私たちは、大学生生活で培った知識を手に、会社に入り、または、違った道にしても、社会に貢献して行かなければならないのである。すべての学生が、このようなことを考えているかどうか解らないが、少なくとも我が東海大学の諸君は、日本の未来について考えていると、私は祈っている。

最後に、学ぶ場を与えてくれた家族、東海大学、また、ご指導して頂いた粕谷教授をはじめとする諸先生に、心より感謝致します。

卒業生の声

卒業にあたって

大学院修士課程2年(林義正研究室)
江原 達哉

子供の頃、ターボエンジンで世界を席巻しているホンダF1のエンジンに憧れ、自分も将来レース用エンジンを設計してみたいと思いついた。大学の進路を決意した。時の経つのは早いもので入学以来もう6年になる。学部、修士と通じ自動車用エンジンの研究を行う機会に恵まれ、そこで自動車用エンジンを設計すること、エンジン内の現象などの解析を行うことの難しさを知った。私はこの6年間を通じて、学部時代のモータースポーツの研究から非常に多くのことを学びとれたと思う。動力機械工学科は日本で唯一モータースポーツについての研究を行っているところだと思ふ。今後はこの他の大学にはない魅力をより一層生かして、エンジンニアとしての基礎を学べるような環境が整うことを望みます。



卒業生の声

四年の歲月

第二工学部機友会工学科
永村 かよ

私が四年間の大学生活で得た物。それは、経験である。学業に専念したつもりも無ければ部活もやらなかった。しかし経験だけはこの四年間で教えきれないくらいにできた。大学という空間と時間は、決して学問を学ぶだけの場所ではなく、大学生だからこそできることを行う所だ。一般社会に出る前に数多くの人と接し、いろいろな考え方や知識を身に付けるには、四年の大学生活というのはとても素晴らしい時間であり、学生が多い東海大学は数多くの人々と知り合える機会を与えてくれる空間だ。

入学当時、二部というのにコンプレックスを感じていた私だが、ここで四年という歳月を過ごした今では、二部という事に誇りを感じる事さえできる。私達二部学生の学、代々木校舎は二部生の為に与えられた空間である。そこでの大学生活は、普通の学生ができないような経験ができたのではないだろうか。そして、これらの経験から成せざる。何事も諦めず前進する事を学んだ。卒業しても四年間で身に付いた事は一生肝に命じていきたい。

最後に四年間で接点を持つ事のできた知人そして、先生方に深く感謝いたします。

メカトロニクス研究開発



イスタン技研株式会社



株式会社 アツギ

資本金 5,000万円

○放電加工機及び周辺機器、電極

○メカトロ専用機、半導体機器、精密金型・治具

取締役社長 河西正彦(昭和41年度機械科卒)

(イスタングループ 従業員総数2,000名)

本社 〒242-0024 神奈川県大和市福田6-9-21

営業所: 神奈川、埼玉、大阪、山形、長野、茨城、静岡、愛知、宮城

TEL.046-269-9911(代)

工場: 神奈川、山形

パーツ・フィーディング・システム
ホームページ開設!

http://www.kantodenshi.co.jp

NEW スプリングフィーダー

最小スプリングや
複雑形状の部品整列に

関東電子株式会社

代表取締役 関 忠好(昭50年卒)

〒297-0144 千葉県長生郡長南町市野々1648

TEL.0475-47-1188

FAX.0475-47-0480

e-mail info@kantodenshi.co.jp

学科だより

◆十年間の勤務を終えて◆



第二工学科
機械工学科

野老山幹雄

平成二年三月
企業生活三十
五年を経て、
四月より第
二工機械工
学科の技術職
員として、学
科の教務、学
務、事務、就
職、学事予算、卒研、庶務等を、
建設工学科の予算庶務事項と併せて
担当させて戴き、微力乍らお手伝い
させて戴き大過なく勤務を終える事
が出来ました。(大過なくと云う事は
何もなかったと云う事です)之
もひとえに皆様方のご支援の賜物と
深く感謝申し上げます。

「つて明るい社会を築いて下さい。」又
全てが便利になってきた反面、地球
環境破壊は深刻です。若い諸君達で
改善策を考え、二十一世代への渡し
役をになして下さい。

学園生活では、諸先生方、機友会
の皆様方と交流の場を多くもたせて
戴きました。奉職初年度の入学式で
の「建学の歌」「校歌」は非常に新鮮
で感動的なシーンでありました。学
生研修会、教職員研修会、園遊会、
建学祭、新年会、忘年会と多くの皆
様方との「ふれあい」がなつかしく
感じられます。誠に有難うございま
した。退職後もお付き合ひさせて戴
ければ幸いです。(左記に住所・電話付
記させて戴きました)

皆様のご健康とご活躍で発展を祈
念し、又東海大学の益々の発展をお
祈りし、退職のご挨拶と致します。

〒二二〇〇〇〇二二
東京都文京区大塚五十二一十一

野老山幹雄
電話 〇三二二九四五一四七七四

学科だより

機友会賞受賞者

機友会賞は、学業によく励み、ま
たクラスの団結に寄与した学生、あ
るいは特別な努力や学科のために非
常に貢献した学生に授与される賞で
す。今年度は卒業式当日に次の学生
(敬称略)に授与されます。おめで
とうございます。

機友会賞表彰者

クラス

氏名
(一九九九年)

機友会会長賞

(各クラス1名)
I 60MD1224 西廣 義祐

◆東海大学機友会平成10年度会計報告◆

平成11年3月31日現在

収入の部 (単位:円)	支出の部 (単位:円)
前年度繰越金 5,138,606	事務諸経費 454,205
平成10年度卒業生会費納入金 1,470,000	会報発行費 1,946,467
既卒者会費納入金 600,000	名簿発行費 344,610
賛助会員会費納入金 200,000	卒業生勧誘事業経費 572,976
会費掲載広告料 738,005	理事会諸経費 73,854
懇親会費および御祝儀 140,000	懇親会諸経費 264,111
既卒者カンパ 123,000	賛助会員勧誘事業経費 222,646
名簿売上 60,000	雑費 109,730
その他収入 1,000	小計 3,988,599
預金利息 1,439	次年度繰越金 4,483,451
合計 8,472,050	合計 8,472,050

平成12年2月22日 上記監査の結果、相違無いことを認める。

監査 佐々木 新
伊藤昌大

機友会賞 (各クラス3名)	評議員 (各クラス1名)
二工 60MD11101 浅野 孝司	二工 60MD11101 浅野 孝司
三工 60MD11101 奥野 亜朝	三工 60MD11101 奥野 亜朝
理 60MD11101 田子 幹久	理 60MD11101 田子 幹久
第一工 60MD11101 今村 幹亮	第一工 60MD11101 今村 幹亮
第二工 60MD11101 高橋 靖	第二工 60MD11101 高橋 靖
第三工 60MD11101 谷口 貴圭	第三工 60MD11101 谷口 貴圭
第四工 60MD11101 萩原 真久	第四工 60MD11101 萩原 真久
第五工 60MD11101 大鐘 慶浩	第五工 60MD11101 大鐘 慶浩
第六工 60MD11101 山越 弘教	第六工 60MD11101 山越 弘教
第七工 60MD11101 佐々木 臨平	第七工 60MD11101 佐々木 臨平
第八工 60MD11101 佐々木 臨平	第八工 60MD11101 佐々木 臨平
第九工 60MD11101 奥野 亜朝	第九工 60MD11101 奥野 亜朝
第十工 60MD11101 奥野 亜朝	第十工 60MD11101 奥野 亜朝
第十一工 60MD11101 奥野 亜朝	第十一工 60MD11101 奥野 亜朝
第十二工 60MD11101 奥野 亜朝	第十二工 60MD11101 奥野 亜朝
第十三工 60MD11101 奥野 亜朝	第十三工 60MD11101 奥野 亜朝
第十四工 60MD11101 奥野 亜朝	第十四工 60MD11101 奥野 亜朝
第十五工 60MD11101 奥野 亜朝	第十五工 60MD11101 奥野 亜朝
第十六工 60MD11101 奥野 亜朝	第十六工 60MD11101 奥野 亜朝
第十七工 60MD11101 奥野 亜朝	第十七工 60MD11101 奥野 亜朝
第十八工 60MD11101 奥野 亜朝	第十八工 60MD11101 奥野 亜朝
第十九工 60MD11101 奥野 亜朝	第十九工 60MD11101 奥野 亜朝
第二十工 60MD11101 奥野 亜朝	第二十工 60MD11101 奥野 亜朝

◆編集後記◆

創刊号より二十四号まで会報編集と
印刷を担当された信友印刷(株)の大矢理
事が休職されるとの事です。印刷会
社が変わります。大矢理事の御苦労に
は大変感謝致しますと共に御苦労さま
でした。

その為に、本会報には不備な点も
多々有るかもしれませんが前記の点を
考慮戴きお許しをお願いします。また、二
千年という年に当たり会員の皆様はど
うお過ごしでしょうか。何時の時代で
あれ大変な事は間違いなく、努力が求
められます。活躍を期待します。



EBARA

最上の技術とサービスで広く社会に貢献する

荏原サービス株式会社

〒144-8677 東京都大田区羽田旭町13-3

TEL 03-3743-7386 (人事課直通) E-mail: job@esv.co.jp